

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	文化財保護事業	担当者	教育委員会	社会教育係
-------	---------	-----	-------	-------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	1. 個性を尊重し、心豊かな人生を送れる村／教育・文化の向上／文化振興と文化財			
関連する主な計画等				
根拠法	文化財保護法 阿智村文化財保護に関する条例 阿智村文化財保護に関する規則			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	全村民及び来訪者			
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	阿智村の豊かな自然・歴史・文化財への関心を高め、地域にある文化財の価値を共有する。地域の貴重な文化財を保存・活用する。					
具体的取組	神坂峠・浪合関所ほか保全作業。 清内路手作り花火技術伝承補助。 文化財収蔵館所蔵の資料整理。 小黒川のミズナラの柵設置等の周辺整備。 県宝指定による安布知神社本殿・拝殿記念講演会等を行った。					
実績・効果	清内路手作り花火補助:1,400千円 文化財収蔵館の資料整理については、作業量が当初見込みより多く完了までに至らなかった。 H24年からの小黒川のミズナラ樹勢保護については、柵設置等の周辺整備をもって一連の作業を終えた。(国補) 安布知神社本殿・拝殿講演会開催(参加者70人)。県宝指定された安布知神社本殿・拝殿の保護について理解を高めた。					
歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	報酬	259	需用費	388	補助金	1,400
	賃金	235	委託	1,871		
	報償費	22	使用料	4		
	旅費	23	工事費	1,375		
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額(千円)	4,918	5,048	5,577	5,284	3,284
	うち一般財源	3,614	3,910	3,947	5,284	3,284
	うち補助金	1,304	1,138	1,629		
	うち個人負担					
従事職員(人)	正規職員	1	1	1	1	1
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	b	文化財保護として必要である	C
	手段、成果は妥当か	c	文化財への標識及説明板を設置していない 収蔵館の整理ができていない。	
	対象者の設定は妥当か	b	文化財が公共性をもち、妥当と考える	
	村の関与は妥当か	b	文化財保護法に基づき実施	
有効性	期待された効果が得られたか	数値として表れる部分は少ないが、個々に合わせた保護及び活用として一定の効果があつた	C	
効率性	コストの削減に努めたか	b	対策委員会の了解を得て、枝保存作業など見直し、当初計画より削減することができた。	B
	効率性を高める工夫はされたか	b	対策委員会で協議し、計画の一部修正と当初計画していた工程表を精査することで効率的に実施できた。	
公平性	受益者負担は適切か	清内路花火への補助は基金利子範囲内である	B	
総合評価	C			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	村民へ村指定文化財を紹介し、文化財保護への理解・関心を高めていくことが十分できていない。全村博との連携も十分と言えない。標識及説明板の未設置、または棄損しているものが一部有り。所有者の文化財に対する一定の理解はあるものの、保全に係る修繕費用が高額になることが多く、所有者の負担が大きい現状がある。
今後の取り組み	文化財を紹介する冊子等を作成し、文化財保護への理解を高めるツールとする。 小黒川のミズナラについて通常管理は継続する中で、来訪者への樹勢保護について理解を深めていくようにする。 文化財候補を調査・選択し、必要があれば指定していく。